

## 令和2年度 丹後広域振興局 重点目標

|   | 重点事項                               | 成果目標   |
|---|------------------------------------|--|
| 1 | <p>住み続けることができる安心安全な地域づくりを進めます。</p> | <p><b><u>新型コロナウイルス感染症の拡大防止に配慮しつつ、地域全体で子育てを支える仕組みづくりやソフト・ハード両面からの防災・減災対策に取り組むなど、住み続けることができる安心安全な地域づくりを推進します。</u></b></p> <p>① <b><u>地域全体で子育てを支える仕組みづくりを進めます。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 丹後地域における子育てに関する相談機関や子育て支援を行う団体等との連携による「きょうと子育て環境日本一 丹後地域サミット」を設置して、丹後地域の課題等の共有を図るとともに、企業WG、子育て支援WGを設置して具体的方策について検討に着手します。</li> <li>○ 医療的ケア児の通学等に係る家族の負担を軽減するため、移動支援モデル事業に取り組むとともに、関係機関や市町村と連携した支援体制を構築し、安心して子育てができる環境整備を推進します。<br/> <span style="display: block; text-align: right;">＜医療的ケア児者へのモデル的移動支援の実施（12回）＞</span> </li> </ul> <p>② <b><u>ソフト・ハード両面から防災・減災対策に取り組み、災害に強い安全な地域を構築します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 山地荒廃に起因する土砂流出を伴う災害を防止するため、山林から海まで水系一貫となる土砂災害防止対策を推進します。<br/> <span style="display: block; text-align: right;">＜河川浚渫 11 河川、砂防 6 箇所、急傾斜 5 箇所、森林整備（間伐等） 36ha、治山事業 9 箇所＞</span> </li> <li>○ 地域幹線道路国道 178 号の強靱化のための取組を推進します。</li> <li>○ 各市町等関係機関と連携し、避難所における新型コロナウイルス感染症への対応も含めた防災リーダー研修の実施や災害危険情報の住民への周知など、地域住民の防災意識を向上させる取組を支援します。<br/> <span style="display: block; text-align: right;">＜防災リーダー養成者数 170 人＞</span> </li> <li>○ 浸水想定区域図作成の推進や防災重点ため池について、「ため池安心・安全マップ」作成の促進による円滑かつ迅速な避難を支援します。<br/> <span style="display: block; text-align: right;">＜浸水想定区域図作成 25 箇所 ため池安心・安全マップ作成 22 地区＞</span> </li> </ul> |

## 令和2年度 丹後広域振興局 重点目標

|   | 重点事項                              | 成果目標  |
|---|-----------------------------------|---|
| 1 |                                   | <p><b>③ <u>健康寿命延伸などの取組や丹後地域における高度ながん医療提供を開始します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 丹後地域の死因第一位であるがん及び糖尿病や高血圧を中心とした生活習慣病の対策のため、市町と連携による研修会開催など、早期発見・早期治療・重症化予防の取組を実施します。</li> <li>○ 府立医科大学附属北部医療センター「がん診療棟」の運用を開始し、北部医療センターでがん診断から治療までの包括的ながん診療を提供します。</li> <li>○ 3密を避ける生活様式の徹底周知など、WITHコロナ社会への対応を踏まえた感染予防対策を推進します。</li> </ul>  |
| 2 | <p><b>稼ぐ力の強化による産業振興を図ります。</b></p> | <p><b><u>新型コロナウイルス感染症の影響も踏まえ、地域経済の回復に向け、海の京都DMO等と連携し、丹後地域への観光誘致や産業振興など地域の稼ぐ力の強化を推進します。</u></b></p> <p><b>① <u>丹後地域の自然・文化・歴史を活用し、市町等との連携による観光誘致を進めます。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海の京都DMOや丹後・中丹・但馬の3地域の関係機関と連携による広域周遊観光の充実や観光素材の魅力向上を図り、丹後地域への観光誘客を促進します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「eバイク」を活用した管内事業者等によるツアー造成などの関連コンテンツの造成支援などにより、新たな地域・客層による観光消費を誘発する仕組みづくりを形成するとともに、「eバイク」で管内を周遊できる環境整備を海の京都DMOと連携して推進します。 <p style="text-align: right;">＜新規eバイクコンテンツ造成支援件数 4件＞</p> <p style="text-align: right;">＜充電ステーション実証実験箇所数 4ヶ所＞</p> </li> <li>・ 山陰海岸ジオパークについて府县市町・認定ガイド団体と連携してトレイルルートを活用した商品開発を推進します。 <p style="text-align: right;">＜認定ガイド等と連携したジオトレイル商品開発 2件＞</p> </li> <li>・ 「世界遺産」登録を目指す天橋立の魅力向上のため、府民などの協働による松並木保全、海岸清掃、阿蘇海のカキ殻回収などの環境改善活動を推進するとともに、一般府道天の橋立線の無電柱化を推進します。</li> </ul> </li> </ul> |

## 令和2年度 丹後広域振興局 重点目標

|   | 重点事項 | 成果目標  |
|---|------|---|
| 2 |      | <p>② <b>「丹後ちりめん創業 300 年事業」等を契機とした丹後地域の産業・文化の発信を進めます。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 今年度、創業 300 年を迎える「丹後ちりめん」について各市町、丹後織物工業組合などと連携し、「丹後ちりめん創業 300 年記念事業」を展開して地域内外に丹後ちりめんの魅力の発信や織物産業の振興を図るとともに、産業観光・情報発信施設整備に向けた取組を実施します。<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;織物事業者が取り組む新たな販路・分野での出荷額 1 億円&gt;</li> <li>&lt;新たに織物業に携わる人数 25 名&gt;</li> </ul> </li> <li>○ 機械金属業で長年培ってきた技術を用い、水産業など異業種との連携による新技術開発の取組を推進します。</li> </ul> <p>③ <b>丹後の食の魅力づくり、ブランディングの確立を図ります。</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地元の食材（水産物・農産物）を使ったメニューを提供する「旬の食材提供店」を掘り起こし、「旬の食材」「提供店」を統一的に発信する「海の京都 旬の食材フェア」を展開するとともに、都市部の量販店や商店街等での丹後地域の農産物や加工品等を集めた販促イベントを展開します。<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;「旬の食材提供店」の認定店舗数 63 店舗&gt;</li> </ul> </li> <li>○ 丹後産農産物の流通コストの軽減による農業者の所得向上のため、ICT 技術の活用による新たな出荷システム開発と出荷システム運用に向けた実証実験を実施します。</li> <li>○ 丹後産農産物と加工食品のブランド化を図るために、地元企業からの野菜残渣や地元農家からの家畜糞尿を活用した資源循環型農業システム確立に向けた実証実験を実施します。</li> <li>○ 鮮度の落ちない新しい長期保存技術を活用し、丹後産フルーツを活用した新商品開発や東南アジアへの輸出拡大を推進します。<br/> <ul style="list-style-type: none"> <li>&lt;丹後産フルーツ活用の商品開発数 3 丹後産フルーツ（梨）輸出量 前年比 5%増&gt;</li> </ul> </li> </ul> <p>④ <b>山陰近畿自動車道及びアクセス道路の整備を促進・推進します</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 大宮峰山道路の整備を促進します。</li> <li>○ (仮称)大宮峰山 IC へのアクセス道路の整備を推進します (国道 312 号大宮峰山インター線)。</li> <li>○ (仮称)大宮峰山 IC から (仮称)網野 IC までの早期事業化を促進します。</li> </ul> |

## 令和2年度 丹後広域振興局 重点目標

|   | 重点事項                                 | 成果目標  |
|---|--------------------------------------|---|
|   |                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ ルート未決定の網野から兵庫県境の早期のルート決定に向けた検討に着手します。</li> </ul>   |
| 3 | <p><b>地域を支える人材の確保・育成に取り組みます。</b></p> | <p><b><u>移住・定住の推進による新たな地域の担い手の確保や商工会議所・商工会等との連携による企業の人材確保力の強化など、地域を支える人材の確保・育成を推進します。</u></b></p> <p>① <b><u>移住・定住の推進による地域の担い手の確保や「関係人口」が地域において活動量を高める仕組みづくりを推進します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 移住希望者、空家提供者及び受け入れ地域にきめ細やかなワンストップ対応を図り、移住を促進するため、「移住セミナー」「受入地講習会」などの開催や地域提案書の作成を支援します。<br/> <div style="text-align: right;">＜丹後地域の農山漁村への移住者数 230人＞</div> </li> <li>○ 定住人口や交流人口とも異なる「関係人口」が、地域において活動量を高めるための仕組みづくり構築に向け、地域と連携したアクティブワーキングなどの実証実験等を実施します。</li> </ul> <p>② <b><u>地域産業の将来を担う人材確保のため、商工会議所・商工会等と連携し、企業の人材確保力を強化します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地域産業の将来を担う人材確保のため、商工団体等関係機関と連携し、企業の人材確保力を強化するとともに、高校生や地元出身大学生等ステージに合った施策を実施します。<br/> <div style="text-align: right;">＜管内高校生を対象とした管内産業・企業セミナー参加者数 100人＞<br/>                     ＜企業向け実践型採用活動セミナー参加企業数 100社＞</div> </li> </ul> <p>③ <b><u>地域文化の継承や「明日の丹後」を担う子どもたちの郷土愛を醸成します。</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 祭事の担い手不足等地域が抱える課題解決に向けた、地域住民、市町及び地域外の大学生ボランティアと協働した活動を支援します。</li> <li>○ 地域のものづくり産業等への関心を高め郷土への誇りと愛着を醸成するため、丹後・知恵のものづくりパークで体験学習を実施するとともに、企業等と連携して小中学生を対象とした出前講座等を実施します。<br/> <div style="text-align: right;">＜出前講座実施数 20講座＞</div> </li> </ul> |